

平成21年7月27日に群馬県邑楽郡千代田町と邑楽町で発生した突風について
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

7月27日14時前、邑楽郡(おうらぐん)千代田町萱野(かやの)で、突風による住家一部損壊等の被害が発生しました。また、同日14時頃、邑楽郡邑楽町狸塚(むじなづか)でも、突風による非住家損壊等の被害が発生しました。

このため28日、前橋地方気象台は職員を気象庁機動調査班として派遣し、現地調査を実施しました。

結果は以下のとおりです。

邑楽郡千代田町

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、特定出来ませんでした。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害や痕跡からは、竜巻やダウンバーストに特徴的な収束性や発散性を示す風向分布がみられなかった。
- ・ 聞き取り調査からも、現象の特定に結びつく目撃情報や証言を得られなかった。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定しました。

(根拠)

- ・ 住家の屋根瓦が一部めくれた。
- ・ 物置の屋根の飛散があった。

邑楽郡邑楽町

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻の可能性のあるものの特定には至っていません。

(特定に至らなかった理由)

- ・ 被害や痕跡は東西方向に約1km、南北方向に約300mの帯状の範囲内にあったが、断続的であった。
- ・ 被害や痕跡から推定した風向は、一部に異なる風向がみられたが、明らかな収束性や発散性など、竜巻やダウンバーストに特徴的なものはみられなかった。
- ・ 被害地付近で移動する渦の目撃情報があったが、現時点では被害をもたらした突風との関係は不明である。

(2) 強さ(藤田スケール)

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定しました。

(根拠)

- ・ 小屋の飛散や倉庫屋根の飛散がみられた。

また、邑楽町の被害は、ほぼ同時刻に館林市で発生した竜巻による被害の概ね延長線上に分布しているものの、連続性が確認できておらず、関連は不明です。なお、千代田町の被害は延長線上にありません。